

◇ 令和6年度応援奨学生アンケート結果

NO	学部研究科	奨学期間に得た成果	今後の「応援奨学生」制度への要望・アイデア等をお聞かせください。	後輩給付生へのアドバイスをお聞かせください。	応援奨学金の給付を受けたことについての感想をお聞かせください。 (寄附者へのメッセージ等)
1	教育学部	大学では講義の中からたくさんのことを学び、幼い頃から目標にしていた教員になるための免許を取得することができました。積極的にインターンや教育実習に参加し、児童生徒と関わりながら、教員になるために必要な力や大切にしたいことを学ぶことができました。その経験を生かし、卒業研究では、特別支援教育や外国人児童生徒への教育について、実践的に学ぶことができました。	特になし	実習やインターンに参加して実践的に学べるのは、大学生のうちにしかできないことなので、たくさん経験をして、将来の夢に少しでも近づいていってほしいです。	奨学金ありがとうございました。大学4年間で悔いなくたくさんことを学ぶことができました。
2	教育学部	従来に引き続き、奨学期間も一層勉学に精励することができた。学業面では、高等学校教育実習や博物館実習を通して、大学での学修成果を実社会のフィールドで活かすことができた。また研究活動では、社会科教育講座(史学)の先生方との共著論文1本を『教育学部研究報告 人文科学』73巻1号にご掲載いただいたほか、卒業研究にも精力的に取り組み、論文を書き上げることができた。そして社会貢献活動では、社会科教育講座の仲間とともに「岐阜県若者の選挙意識を高める会(Novolt)」で活動し、小学校での出前授業、選挙管理委員会と協働した教材開発などに取り組んだ。そしてNovolt(団体)名義で「第19回マニフェスト大賞 シティズンシップ部門優秀賞」を受賞することができた。加えて学部を横断した学生有志の「岐阜大学ユニバーサルシート調査隊(ゆにいんくる)」に所属し、地域におけるユニバーサルシートの普及状況を調査し、「ユニバーサルシートマップ」を作成する活動を行った。その結果、団体名義で、医療的ケア児を応援する市町村長ネットワークより「スペシャルニーズ応援アワード2024 やさしいまちづくり部門」で表彰いただいた。	応援奨学金を給付いただき、心から感謝申し上げます。ありがとうございます。応援奨学生制度については、基本的に現行の選考方法、給付方法を継続していただければと思います。ただ使途については、もう少し出願時と成果報告時に、調査してもいいかもしれないと思いました。私は主に、この奨学金を、自身の専門とする分野(教科教育学)の学術書を購入する費用などに充てています。それぞれの給付生によって、使途は様々だと思いますので、今後機会があれば調査していただいて、給付額や給付時期、給付対象などを決める際の参考にいただければと思います。	後輩給付生の方々においては、本奨学金が寄付して頂いた方々のご厚意によって成り立つことを念頭に置いて、一生懸命に勉学に励んでいただきたいと思います。また進路選択をされる際には、自分自身が大学生生活の4年間を通して「どのような分野やスキルを究めようとしてきたのか」、そして今後「それらをどのような形で活かしたいのか」という視点からぜひ考えていただきたいと思います。後輩給付生の方々も含めて、岐阜大学で学んだ方と、社会のいろんな場面でお会いできるのを楽しみにしております。	岐阜大学応援奨学金を給付いただいたことについて、心から感謝申し上げます。ありがとうございます。この奨学制度は、岐阜大学で意欲的に研究に取り組んだり、その成果を実社会のフィールドに対して還元しようと努めたりしている学生にとって、大きな励みになると思います。私自身も教育学部で4年間学んでいます。日頃から岐阜大学の先生方や学生、職員の方、地域社会で働く行政、企業、住民の方々など、幅広い方々に支えられながら、大学生生活を送ることができていると実感しています。今後とも引き続き、岐阜大学と岐大生に対して、温かいご支援を賜りますようお願い申し上げます。
3	地域科学部	主に所属している研究室での学びを充実させることができました。大学3年時は就職活動やアルバイトと並行して卒業論文を含めた研究活動に全力で取り組むことが難しいかもしれないと思っていました。しかし、応援奨学生として支援をいただいたことにより、生活にも余裕が生まれ、大学内外を問わず自分の活動に真摯に向き合うことができました。特に卒業論文では自分の学びたいと思ったテーマについて、納得する形で今までの学びの成果を残すことができ、非常に充実感を覚えました。	応募者が少ないとのことで研究室の先生から後輩に奨奨学生の宣伝がありました。応募者が増えればそれだけ多くの学生に学びの幅が広がる可能性があるという点ではいいと思います。また、そのために良い成績を収めようと努力する学生もいると思うので、積極的に宣伝することはいいい取り組みだと思います。ただ、学生によっては奨学金を「お小遣い」のように、娯楽の資金として捉える人もいると思います。それも学生の学びと捉えるのであれば問題ありませんが、もし違うのであれば本来の目的とは違った用途での使用を避けるためにも、私のように貸与奨学金を受けているとか、それ以外でもしっかりと奨学金を受けたい理由がある人を選んでほしいと思います。ただ、成績が優秀な人という基準については、その人のそれまでの努力が認められるべきだと思うので今後もその観点を残して欲しいと思いました。	応援奨学金は給付を受ける人がそれまでの勉強を誠実にこなし、成果を残し続けてきた証だと思います。応援奨学生として認定されたら、まずはその事実を誇り、自信に繋げて欲しいと思います。その上で、毎月の給付を受けるたびに自分が努力してきたことを思い出し、その後も真摯に学びと向き合い続けて欲しいです。大学4年生になって卒業論文という4年間の学びの成果を作り上げ、卒業の日を迎えたとき、より晴れやかな気持ちで巣立つことができるよう願っています。	この度は応援奨学生としてご支援をいただき、誠にありがとうございました。大学2年時よりこの応援奨学生に選ばれることを切望していたため、大学生最後の年に認定していただき、大変光栄に思いました。この1年間は卒業論文をはじめとした大学での学びや就職活動はもちろん、入学前から大切にしていた「視野を広げる」という目的を達成するため、さまざまな場所に足を運び、知見を広げてまいりました。そのためにこの応援奨学生という制度は不可欠で、寄付者の皆様のご協力のおかげで、私はより充実した大学生生活を送ることができました。春から社会人となり、学生とは全く違った立場で生活していきますが、この4年間の学びを活かして少しでも多くの人の生活を豊かにできるように努力したいと考えています。寄付者の皆様には当制度を通して大変お世話になりました。感謝申し上げますとともに、今後とも私の後輩となる学生たちへのご支援を賜りますようお願い申し上げます。改めて、この度は本当にありがとうございました。
4	医学部	奨学期間に得たことは、大きく次の2つです。1つ目は、将来の保健師の土台となる経験ができたことです。2つ目は、第1志望の就職先に受かったことです。いずれのことも、奨学金を頂き、学業に専念できたからこそ得られたのだと感じております。卒後は、奨学応援生としての期待に応えられるよう、岐阜大学で得た知識や経験を活かして保健師として社会に貢献していきます。	現在の制度で充足していると思います。本当に感謝の限りです。	在学中に達成したい目標を書き出し、目標達成に向けて行動することが大切だと思いました。	このたびは、応援奨学金を頂き、本当にありがとうございました。おかげさまで、岐阜大学での学びを続けることができ、日々成長を実感しております。この奨学金は私にとって支えであり、学業に専念することができました。特に、保健師の実習でかかる費用などに活用し、実習を通じて様々な経験をすることができました。卒後は保健師として地元の市役所で働きます。奨学金の趣旨に沿えるよう、岐阜大学での経験を活かして社会に貢献していきます。改めて、学業を応援頂き、本当にありがとうございました。

◇ 令和6年度応援奨学生アンケート結果

NO	学部研究科	奨学期間に得た成果	今後の「応援奨学生」制度への要望・アイデア等をお聞かせください。	後輩給付生へのアドバイスをお聞かせください。	応援奨学金の給付を受けたことについての感想をお聞かせください。 (寄附者へのメッセージ等)
5	医学部	私はこの1年間で様々な病院実習に参加し、多くの手技や思考プロセスを学習することができました。中には寮に住み込みで実習を行う施設もあり、奨学金は非常にその助けとなりました。また、奨学金により教材を購入することができ、卒業試験を含む各種試験では満足のいく成績を残すことが出来ました。これらの経験は、来年から研修医として働く上で大きな財産となりました。直前に控えた国家試験も合格を目指して日々努力しています。	非常に良い制度だと感じました。後輩のためにもこれからも継続していただきたいです。	先輩方の期待を背負って奨学金をいただくので、勉強にも力が入ります。頑張ってください。	奨学金のおかげで購入できる教材が増え、自身のやりたいことにもより挑戦できるようになりました。この知識、経験を岐阜県と岐阜大学のために医療の立場から還元していきたいと考えております。寄付者の皆様、ありがとうございました。
6	工学部	奨学金を受給したことでアルバイトの時間を減らし、より勉学に集中することができました。特に、履修科目数を増やして他コースの授業にも参加し、幅広い分野の知識を深めることができました。また、授業で制作した作品を外部のコンテストに出展し、授業で学んだ知識を活かすという経験をすることができました。奨学期間で学びを深め、新たなことに挑戦し、視野を広げることができました。	現行の月額給付型も大変ありがたい制度ですが、1年間の学費全額を支援する方式にいただけると、より安心して学業に専念できると思います。	奨学金を受給することで得られる時間と余裕を活かし、自分の興味や関心に基づいた学びや活動に取り組んでみてください。勉強だけでなく、課外活動や外部コンテストに参加することで、新たな経験を積み、視野を広げることができると思います。	この度は応援奨学生としてご支援いただき、ありがとうございました。応援奨学金のおかげで、学業に集中できる環境が整い、目標に向かって努力を重ねることができました。また、外部のコンテストに挑戦するなど、新たな経験を積む機会にも恵まれました。ご支援いただいた皆様に深く感謝するとともに、今後も学びを続け、社会に貢献できるよう努めてまいります。
7	工学部	これまでの学業成績が認められ、令和6年6月に行われた岐阜大学創立記念日行事にて令和6年度岐阜大学学業成績優秀者として表彰を受けました。 今年度からは学生実験がより本格的になったことに加え、座学においてもより専門的な内容を学ぶようになり、実験レポートと試験勉強との両立が自分の中の課題でした。自分なりに試行錯誤した結果、今年度の4月から8月の成績は10科目中8科目で最高評価の秀、2科目で秀の次に良い評価である優を頂きました。11・12月に行われた試験ではほとんどの科目で95点から100点の成績を修めました。 引き続き勉学、そして来年度から始まる研究活動に励んでまいります。	本学の修士課程へ進学する予定の学生も応援奨学生の申請対象者として欲しいです。	応援奨学生となったことに満足するのではなく、今まで以上に学業、その他において模範的な学生となるべきという自覚を持つ必要があると思います。そして、給付支援をしてくださる大学への感謝の気持ちを忘れないことが大切だと思います。	本奨学金を受給することができたおかげで、いつもそばで支え続けてくれている両親への親孝行ができたと思います。ありがとうございます。また、今までの学生生活の期間では人一倍勉学に励んできたので、その成果を認めていただけて大変嬉しかったです。寄附をしてくださった方々や岐阜大学には常に感謝の気持ちを忘れず、今後も精進してまいります。 この度は本当にありがとうございました。
8	工学部	4年生となり、研究室に配属され新たな環境での出会いや学びの多い日々を過ごすことができました。以前までは知識に対して受け身的な姿勢であったのに対して、今では自分の研究に意欲的に、そして探究心のままに取り組むことができています。頂いた奨学金の支えによって自分のための時間を作ることができ、生活面では心のゆとりを得ると共に学修面でも自分の納得がいくまで追求し豊富な知識を得ることができました。また、研究への情熱といった人間性の獲得も成果として自負しております。	応援奨学生同士で交流を持てる場があれば、同じ事情や悩みを抱えている方と共有できますし、そうでなくともほんの少しかもしれませんが同じ方向性を持った方々と意見交換をし新たな知見や人脈が得られるのではないかなと畏れ多いながら思いました。	奨学生に採用されたということは、奨学金を給付するにふさわしい人間性や知識を持っていると自信を持って、より一層勉学に励むと共に、自分の時間もしっかり作って充実感のある日々を送っていただきたいです。	給付期間中はアルバイト等に割く時間が減り、その分自分の思うように使うことのできる時間が増え、心身ともに余裕をもった、満たされた日々を送ることができ感じておりました。非常に支えとなるすばらしい制度だと思いますので、今後も続けて実施してくださると大変嬉しいです。
9	工学部	UnityとROSを用いて、VRゴーグルからロボットを制御するシステムを開発した。パソコンの視線入力を利用して操作できる、身体障害者用のロボットユーザーインターフェースを開発した。岐阜県地球温暖化防止活動推進員として、環境イベントで地温センターのブース出展の手伝いを行ったり、環境学習用キットの開発を行ったりした。各務原市発明クラブにおいて、学生講師として、小学生のものづくりの手伝いや指導、半導体素子の仕組みの解説などを行った。	金銭以外の支援として、食料やコンピュータ、3Dプリンタなどの現物支給でもよいと思います。	支援してくださっている方のためにも、国立大の学生として、国民の生活を豊かにできるよう努めてください。	奨学金の給付を受けたことで、これまでよりも自由にロボット開発ができました。開発の中で様々な知見が得られたので、それを今後に生かしていきたいです。ありがとうございました。
10	工学部	卒業研究では、豪雨災害時における住民の情報入手手段やその影響について詳しく分析を行い、今後の防災情報の効果的な伝達方法の検討に貢献できる有益な知見を得ることができました。特に、情報の入手経路が避難行動に与える影響について考察し、実践的な提言を行いました。また、研究と並行して専門知識の習得にも力を入れ、交通技術資格者の資格を取得しました。これにより、防災・減災の分野において、より専門的な視点から貢献できるようになりました。	学生にあまり認知されていないというイメージがあるので、もっと周知させたほうがいいのではと思います。	学生の代表という意識をもって学業に取り組んでほしいと思います。	この度は、応援奨学生として選出していただきありがとうございました。おかげでお金の心配をすることなく卒業研究に専念することができました。大学院に進学しますが、引き続き頑張ります。
11	応用生物科学部	語学力の向上と研究成果、心身の健康増進を目指すため、本奨学金を活用させていただきました。 オンライン英会話やTOEICの教材や受験費用に充当することで、ジョイント・ディグリープログラムへの参加資格を獲得。アルバイトを減らし、実験や研究活動に専念する時間を捻出することができました。学会では研究成果を二度発表することができました。また、ジムに通い、集中力の回復と前向きな精神、負けない身体を鍛えました。奨学金を有効に活用することで、多面的に自身を高めることができ、さらなる成長の土台形成に繋がれたと考えています。	例年通りで充分であると思います。	給付を受けたタイミングで、一年後のありたい姿を考えて、計画的に遣って欲しいです。	感謝と恩返し of の気持ちをお伝えしたいです。 大学院生になっても献身的に努力を努めていきたいです。

◇ 令和6年度応援奨学生アンケート結果

NO	学部研究科	奨学期間に得た成果	今後の「応援奨学生」制度への要望・アイデア等をお聞かせください。	後輩給付生へのアドバイスをお聞かせください。	応援奨学金の給付を受けたことについての感想をお聞かせください。 (寄附者へのメッセージ等)
12	応用生物科学部	卒業研究に全力で取り組み、専門分野の知識を深めるとともに、幅広い視点を養うことができました。特に、一年間を通して自身の研究と向き合う機会を得たことで、研究の基礎を身につけ、その応用可能性を考察できるようになった点で大きな成長を感じています。また、仲間と積極的にディスカッションをおこなう中で、新たに自身の専門分野の奥深さや研究の面白さを発見し、探究心を持ち、継続して研究に取り組めたように思います。	応援奨学生制度のおかげで学業や研究に集中できる環境が整い、学生生活を送る上で大きな支えとなりました。そこで、このような支援を本当に必要とする学生に活用してもらいたいと思いますが、この制度について知らない学生が多い印象を受けました。そのため、制度の周知をさらに強化することで、より多くの学生がこの支援を活用できるようになると考えます。	私は応援奨学生としてご支援いただけたことで、研究に集中する貴重な時間を得ることが出来ました。そして、一年間自身の研究と真摯に向き合い全力で取り組めたことで、限られた大学生活を有意義なものにし、悔いのない時間を送ることが出来たと思います。この制度を通して受けることが出来る金銭的援助以上の支援を大切にし、実りの多い豊かな大学生活を送ってほしいです。	一年間にわたりご支援いただき、心から感謝申し上げます。応援奨学金のご支援は私にとって金銭的な面だけでなく、精神的なゆとりにも繋がりがり、大学4年生として研究活動を本格的に始める上で大きな支えとなりました。研究と向き合う時間を確保できたことで、その面白さを実感し、より深い関心を持って研究活動に励むことが出来ました。そして、一年間という限られた期間ながら沢山の貴重な経験を積み、研究に携わる者として大きく成長できたように思います。今後も頂けたご支援とこの機会を通して学んだ研究に対する姿勢を忘れることなく、学業に精進してまいります。改めまして、本当にありがとうございました。
13	社会システム経営	ゼミプロジェクトとして、岐阜市畜産センター公園の再興に挑戦したり、岐阜市役所・(株)十六銀行・岐阜大学の3者による産学官共同プロジェクトに参加したりと、さまざまなことに挑戦しました。また、往復4時間の通学の中、学業、1年半の実習、アルバイト、遊びの全てに尽力しています。中でも学業では、時間の有効活用と毎回の講義で内容を理解することを目標に真剣に取り組めました。その成果として、学年表彰に選出されました。	特にないです。	課題や講義に真剣に取り組んで損することはないので、遊びやアルバイト等大学生活を楽しみつつも、やることはしっかりやっておくと良いと思います。	実習やゼミプロジェクト等による実習旅行費が増えたり、三重から通っていることもあり、定期代が高かったりしていたので、給付を受けることができたことにとても感謝しています。ありがとうございました。残りの大学生活も頑張りたいと思います。
14	教育学研究科	本奨学金のおかげでオーストラリアの大学へ交換留学生として留学するに至りました。私は中学校の英語教員志望なので現地で実際に英語を第一言語としている教師から英語の授業をうけ、母語を介さずにうける外国語の授業を生徒の視点から受けることで現状の課題等を考察してきました。また、英語科教員として必須の語学についても留学中モニタリング、省察のサイクルを回し、研鑽をし、帰国後データをまとめ分析してみると、文章読解の正確さはもちろんのこと、処理能力に顕著な伸びがみられました。本奨学金のおかげで英語教師として大多数とは異なる方向でスキルアップをすることができました。	私は教育学研究科の学生として応援奨学生に選ばれました。しかし、金額に見合った成果を上げることができたとは胸を張って言えません。第一期ということもあってその全貌を知らないのでもしその方向性があるのなら申し訳ないですが、卒業以降もなにか成果を上げることができたら報告できる仕組みを整えたいと思います。正直のところ一年で表に出しても恥ずかしくない成果を上げることは難しいと思います。それこそ、ゼミや研究室で長らく引き継いでこられたものを研究するのならはその下地はできているので一年で何かしらの成果を上げることは可能でしょう。しかし、なんのつてもなく、例えば人間を対象に研究を行うとなれば、多くの月日が必要で研究デザインから始まり何かの形態にまとめ上げるのはさらに難しい。しかし、本奨学金を頂いて何かに取り組んだ事実はそこで開花せずともちの糧となっていきます。その熱意を持っているならばいつか成果を上げることもあるでしょう。それを奨学金の給付から一年後の地点でしか報告できないのはもどかしい。学部・研究科ごとに卒業後も成果を報告できる機関を作るとよいとおもいます。そこで蓄積された成果は後々の奨学生の励みと同時に目標にもなるでしょう。	給付型奨学金を頂いて研究を志す人もいるでしょう。しかし、いちから研究を世に出せる形にするには思ったよりも時間がありません。奨学金をもらう以前より研究計画をしっかり練っておくと間に合うかもしれません。	本奨学金の存在が私の熱意を教育にそそぐことを可能にしてくれました。今回、私の教育に対する思いが肯定された経験が大学を卒業し、現場に出た後も積極的に外国語科教育の発展のために貢献していく心の支えとなるでしょう。それもみなさまの支援のおかげです。ありがとうございました。
15	地域科学研究科	奨学期間には中国の湖北省の高校2年生を研究対象として、日本語最小テストというテストを開発しました。中国の日本語大学入試は一年間一回で、一回2時間がかかります。このテストは10分ぐらいをかかって、大学入試の成績を予測できます。	外国人として、学校の奨学生制度についてあんまり知りません。できればみんな入学の時メールでこの制度を説明して欲しいです。	日本に来たばかり時、他の留学生と比べて、日本語が下手です。その時授業とか日常生活とか本当に辛かったです。でも諦めなくて、バイトを探したり、日本のニュースを見たりして、日本語はどんどん上手になりました。困難がある時、諦めるじゃなく、一所懸命頑張って、絶対いい結果が出します。	このような機会があつて、本当にありがたいです。
16	自然科学技術研究科	本奨学制度により、アルバイトの時間を丸々研究に割り当てる事が可能となった。研究の時間が増えただけでなく、アルバイトのストレスから解放されたことで今までよりも研究に注力することが可能となった。その結果、夢のような大規模プロジェクトに取り組むことができ、2つの学会で受賞を達成した。 以下、期間中に得た成果の一覧。 ・国内会議: 2件 ・国際会議: 3件 (内2件は2025年1月16日時点で発表予定) ・受賞: 2件 ・特許: 1件 ・論文: 2件 (どちらも共著, 1件は査読なし)	次年度の募集において博士課程の募集が消えていたが、枠を増やすことができればと思いました。修士課程についても同様です。	貴重な時間を得ることができるため、最大限活かしてもらいたいと思います。	このような機会を戴き、ありがとうございます。心より感謝申し上げます。

◇ 令和6年度応援奨学生アンケート結果

NO	学部研究科	奨学期間に得た成果	今後の「応援奨学生」制度への要望・アイデア等をお聞かせください。	後輩給付生へのアドバイスをお聞かせください。	応援奨学金の給付を受けたことについての感想をお聞かせください。 (寄附者へのメッセージ等)
17	自然科学技術研究科	奨学期間には、これまでアルバイトに費やしてきた時間を研究活動に使うことができ、以上に研究活動に注力することができた。その成果として、以下、7件の学会発表を行うことができた。また、学術雑誌において解説・総説を2件発表することができた。なお、修士論文発表において、日本化学会東海支部長賞をいただくことができた。 学会発表 ①岡田 和真、米田 華子、橋本 慧、沓水 祥一、三輪 洋平「CO2強強化エラストマーにおける強強化メカニズムの解明」 2024年年次大会 2024年5月30日（口頭発表） ②岡田 和真、中村 勇登、山本 勝宏、橋本 慧、沓水 祥一、三輪 洋平「CO2にตอบสนองして硬化する気体応答性ポリマー」第73回高分子学会年次大会 2024年6月5日（ポスター発表） 高分子学会優秀ポスター賞受賞 ③岡田 和真、中村 勇登、山本 勝宏、橋本 慧、沓水 祥一、三輪 洋平「CO2 と反応して“硬さ”や“伸び”を制御できる高分子材料の分子構造探索」第72回高分子討論会 2024年9月27日（口頭発表） ④岡田 和真、中村 勇登、山本 勝宏、橋本 慧、沓水 祥一、三輪 洋平「CO2にตอบสนองして硬化する気体応答性ポリマー」第33回ポリマー材料フォーラム 2024年11月14日（ポスター招待発表） ⑤岡田 和真、中村 勇登、山本 勝宏、橋本 慧、沓水 祥一、三輪 洋平「CO2 と反応して“硬さ”や“伸び”を制御できる高分子材料の分子設計指針探索」第35回アイオノマシンプジョム 2024年11月18日（ポスター発表） ⑥岡田 和真、中村 勇登、山本 勝宏、橋本 慧、沓水 祥一、三輪 洋平「CO2 と反応して“硬さ”や“伸び”を制御できる高分子材料の分子設計指針探索」第35回エラストマー討論会 2024年12月3日（ポスター発表） ⑦岡田 和真、中村 勇登、山本 勝宏、橋本 慧、沓水 祥一、三輪 洋平「CO2 と反応して“硬さ”や“伸び”を制御できる高分子材料の分子設計指針探索」第35回エラストマー討論会 2024年12月3日（口頭発表） 学術雑誌等又は商業誌における解説、総説 ①三輪洋平、岡田和真「CO2にตอบสนองして力学特性を大きく変化させるエラストマー」高分子, 2024年10月. ②Kazuma Okada, Hanako Yoneda, Kei Hashimoto, Shoichi Kutsumizu, Yohei Miwa「Development of CO2-Responsive Elastomers」高分子, 2024年12月.	この制度のおかげで、研究活動に励むことができたので、とても感謝している。できればM1からこのような制度があると、もっと研究活動に励むことができたと思う。	ぜひ研究活動に励みましょう。	このたび、私たちを支援して下さい、誠にありがとうございます。奨学金により、より充実した大学生活を送ることができました。これから私は、博士後期課程に進学し、より一層の研究活動に励みたいと思います。本当にありがとうございました。
18	自然科学技術研究科	この一年間で研究に専念することができたため、学会発表を2回行い、また筆頭著者での投稿論文を1本投稿することができた。また研究に関しては、微細藻類の一種であるミドリムシ由来の人工細胞外小胞様ナノ粒子(細胞から分泌される非常に小さな粒子)の特性を解析してきた。学部・修士課程での研究を経て、このナノ粒子は新規ナノマテリアルとして食品だけでなく医薬品の新素材としての応用が今後期待できると考えている。	この制度を多くの人が知る機会がより増えるといいと思います。	この奨学金により、寄付者の方からの感謝の気持ちを忘れず、より良い学生生活を送れるように努めてください。	一年間、ご支援ありがとうございました。寄付者の方々の助力により勉学に励むことができ、この一年間がより濃密な時間となりました。ありがとうございました。
19	自然科学技術研究科	研究活動では、日ごろのゼミ活動に向けて資料作りを毎週行い定期的に発表することができました。自分の研究の進捗を報告する場において、聞いている側が分かりやすいようにグラフや図の作成、板書するなど、視覚的な理解に繋がるように意識して取り組みました。 また学業とは別で、2つの資格に挑戦しました。バイトの時間の代わりに資格勉強をする時間を設けることができたおかげで2つとも合格し、片方は国家資格を取得することができました。	学部生や院生(修士)は毎月3万円支給されると思いますが、物価などの高騰に伴い金額を少しだけ上げても良いのではないかと感じました。 また在籍確認において、毎月名前を書きに行くのは少し面倒なところがありますので、電子媒体で在籍確認取れるようにしていただけたら良いのではないかと感じます。	毎月定額でお金を頂けると、バイトを減らして学業や自分のやりたいことに時間を充てることができます。応援奨学制度を上手に利用して、充実した大学生活を送ってください。	応援奨学生のために、お金を寄付していただきありがとうございました。私は大学院生ということもあり、研究でバイトを行うことが難しい時期がありましたが、応援奨学金のおかげで生活を不自由なく送ることができました。本当にありがとうございました。

◇ 令和6年度応援奨学生アンケート結果

NO	学部研究科	奨学期間に得た成果	今後の「応援奨学生」制度への要望・アイデア等をお聞かせください。	後輩給付生へのアドバイスをお聞かせください。	応援奨学金の給付を受けたことについての感想をお聞かせください。（寄附者へのメッセージ等）
20	自然科学技術研究科	along Scholarship periode i fell easily to more focus in laboratory metters and also the class, the others things that i got about how i can maintenance my living cost, daily outcome and campus life.	for the next future, really hope this scholarship still continuesly, and also i admire for the next year this programe have gethering for some together event its also to know each others and widely relations. (DEEPL訳) 来年もこの奨学金が継続されることを願っていますし、また、このプログラムを通じて、お互いを知り、広く交流するためのイベントが開催されることを期待しています。	my advices are about utilizing this scholarship as good as your, saving a part and manage as balance as you doing your activities in school. If your ones of the choosen participants its meant to you, do more activities that build your personalities and being forwards. (DEEPL訳) 私のアドバイスは、この奨学金を上手に利用すること、一部を節約すること、そして学校での活動と両立させることです。もし、奨学生に選ばれたのであれば、自分の個性を伸ばし、前向きになれるような活動をすることです。	Dear donors i hope this message finds you well. i am writing to express my deepest gratitude for your generous support through the Oen shogakusei scholarship. Your kindness has made a significant impact on my educations and future. Thanks to your generosity, iam able to persue my studies in Plant Productions in this campus, without the heavy burden of financial constrains and inspires me to work even harder to achieve my dreams. once again, thank you for believing in students like me, your generosity is changing lives, and i am incredibly grateful to be one of its beneficiaries. Best Regards, (DEEPL訳) ドナーの皆様へ 拝啓 時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。 この度は、応援奨学金を通じ、多大なるご支援を賜り、心より御礼申し上げます。皆様のご厚意は、私の教育と将来に大きな影響を与えました。 皆様の寛大なご支援のおかげで、私は経済的な制約という重荷を背負うことなく、このキャンパスで植物生産学の勉強を続けることができ、自分の夢を達成するためにさらに努力する意欲を掻き立てられました。 改めて、私のような学生を信じてくださってありがとうございます。皆様のご厚意は人生を変えつつあり、私はその受益者の一人であることに信じられないほど感謝しています。 よろしくお願いします、
21	工学研究科	査読付き論文2本、国内学会3回、	応援奨学生同士の交流会があれば嬉しいです。	大学からいただけるご支援の意味をしっかりと理解し、今しかできないことに有効に活用してください。	このたびは温かいご支援をいただき、心より感謝申し上げます。おかげさまで、充実した大学生生活を送ることができました。本当にありがとうございました。
22	連合農学研究科	奨学期間に国内、国際学会に複数参加して研究成果の発表を行い、発表賞を受賞した。また、期間中には国内留学を行い、博士論文完成に向けた研究に没頭することができた。現在は研究成果を一流誌への投稿を目指し、論文を執筆している。 がんのメカニズム解明のための研究を行っており、新規治療法や治療薬の開発に役立つような研究が遂行できたと考えている。	学業に集中したい学生にとって、非常にありがたい支援だと思います。支援期間に一定の成果を挙げた学生には翌年以降も継続していただける制度があるとより助かります。	周りの皆さんに支えていただけることに感謝し、精一杯努力して社会に貢献していくことが、支援してくださった方々への恩返しになると思います。	本支援を受けて、国内留学をすることができました。学生の間に専門ではない新たな分野に挑戦できたことは私の今後のキャリアに非常に意義のあることだと思います。心より感謝申し上げます。今後も、支援していただいたことを忘れず社会に役立つ研究をしていきたいと思っています。
23	共同獣医学研究科	私は本奨学期間中に博士研究に占める約6割の実験結果を得た。具体的には、げっ歯類嗅覚器の発生期間における神経栄養因子プロサポシンの発現様式とげっ歯類嗅覚中枢におけるプロサポシン発現細胞の組織化学的特徴の解明を行った。その結果として1報の国際学術論文を発表し、現在自身にとって3報目となる学術論文を執筆中である。また3月にはそれら成果を日本解剖学会/日本生理学会/日本薬理学会合同学術集会において口頭発表予定である。	本奨学金は学生の主体性を尊重しており非常に研究・勉学の助けとなるものであった。強いて意見を述べるならば、他の助成金などの需給状況を鑑みて金額を分割し、対象となる奨学生の人数を増やすことができるとより望ましいと思われる。	特になし。	本奨学金をいただけたことにより研究勉学に一層集中し、結果として良い成果を残せたと思っています。今回本奨学金をいただけたことに厚く感謝を申し上げるとともに、今後も継続して同輩・後輩への支援をいただけると嬉しく思います。どうぞよろしくお願いいたします。
24	連合創薬研究科	奨学期間中は、研究論文と総説論文をそれぞれ1報ずつ国際英文誌 (Chemistry Letters, Organic & Biomolecular Chemistry) にて発表しました。また、国内学会で2回、国際学会で1回研究成果を発表したことに加え、2024年10月から11月にかけて台湾に短期留学し、糖の化学合成に関する技術を習得しました。	過去に応援奨学生として採択された学生がどのような学業成績を取っていたのかを知る機会があれば、応援奨学金制度を利用したい学生が成績目標を定めやすくなると思います。	岐阜大学基金に支援をして頂いている方々への感謝を忘れずに、自己研鑽に努めてください。	応援奨学金をいただけたことで、金銭面の負担が大きく軽減し、修士課程在籍時よりも研究活動に専念できるようになりました。基金へご協力くださった方々に深く感謝申し上げます。ご支援いただき、誠にありがとうございました。